

「地位協定と思いやり予算」についての一考

日米地位協定、正式には「日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第6条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定」1960年に国会承認されている。

60年と言えば安保闘争があった年、単にアメリカ軍に基地を提供するための それまでの条約から（日本を米軍が守る代わりに、在日米軍への攻撃に対しては自衛隊と在日米軍が共同で防衛行動を行う）いわゆる日米共同防衛が明文化された。これが日米安保条約同条約が衆議院で強行採決され、労働者や一般市民からなるデモ隊が連日 国会議事堂を取り囲む 60年安保闘争というのがあった。

そうした中で、ほとんど論議もされず承認されたのが「日米地位協定」。

日米地位協定の内容は、大きくみると3つになる。

1つめ：土地・建物・設備は当然のこと、強制使用できる。
：この他にも、漁業の操業区域も大幅制限されている。
：民間航空機の飛行コースも同様な制限がある。

2つめ：基地の提供だけに限らない
：鉄道・電話・電力・港湾・空港・道路等の自由使用
：物品調達の際の特権 こんなものがある

3つめ：米兵の自由な出入国、刑事・民事責任の大幅免除

1995年に起こった少女暴行事件、日本の警察は何にもできなかった。

第17条5項cに「日本国が裁判権を行使すべき合衆国軍隊構成員または軍属たる被疑者の拘禁は、その者の身柄が合衆国の手中にあるときは、日本国により公訴が提起されるまでの間、合衆国が引き続き行うものとする」という条文がある。

事実上、少女暴行事件の犯人は、アメリカ軍にかくまわれてしまった。

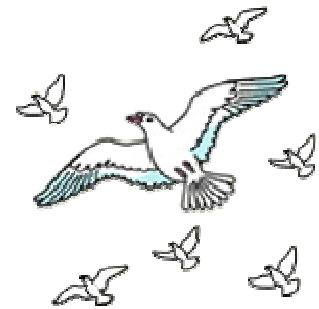
日本の警察は、手も足も出なかった。

今年、2月にも女子中学生暴行事件があった、その他にも住居不法侵入・飲酒運転・タクシー運転手殺人事件、2005年までに5,328件の事件を起こしている。

こういった事件を起こす背景には、米兵の特権を保障する不平等な日米地位協定が存在している このことが、少なからず影響しているのではないか？

地位協定を補足する「増補版」というのがある。これは、協定を補足するのではなく更に譲歩する「譲歩版」ともやゆされている。

実際に、外務省は「増補版・日米地位協定の考え方」なるものは、存在しないと行って隠し続けてきたが、2004年に琉球新報が、入手、公表している。



このように、問題だらけの「日米地位協定」と「日本外交の弱腰」「過剰な米軍へのサービス」の実態がある。

協定書の第 24 条には「日本国に合衆国軍隊を維持することに伴う全ての経費は・・・中略・・・合衆国が負担する」となっているが、実際は違う。

「思いやり予算」米軍に毎年守ってくれてありがとう ということで多額の費用が支払われている

2007 年度で **2,173 億円** 国民一人当たり約 2,000 円 **5 人家族で 1 万円。**

これとは別に、土地の借上げ、**周辺対策費**がかかっている その額 **3,361 億円。**

合計すると 5,534 億円もの費用が毎年必要！ **5 人家族だと 28,000 円近く**になる。

中東での戦争で戦費がかさんでいる という背景もあるか？

米国防総省の「同盟国の貢献度報告」(〇四年版)によると、〇二年度に日本が負担した米軍駐留経費の負担額は、米国の主要同盟国二十七カ国の負担総額の 52%強。

「全ての経費は、合衆国が負担する」という条文と比較して、どう考えればいいのか？
完全な協定違反だ！

昨年、平和行動で沖縄に行ったが、基地の中に黄色いバスがズラーと並んでいた。

10 台や 20 台じゃない 何のためのバスかと聞いたら、兵隊さんの子供が学校に通うスクールバスだった。

沖縄の日本人の子供たちのどれだけがスクールバスで学校に通っているのか。

考えると腹立たしい。

これが、私たちが毎月何万円も払っている税金で全て賄われている

その他にも、米兵のための立派な住宅、ゴルフ場・ボーリング場も基地内にはあるらしい、これらの運営費用も私たちの税金から出ている。

呆れたことに、米兵が住宅のエアコンをつけたまま一時帰国する、そういった電気・ガスの「使い放題」という実態が問題視されたこともある。電気代ただなので使い放題。

そもそも「思いやり予算」は、1978 年に始まっている。

当時、金丸防衛庁長官の時代。

円高ドル安で、アメリカの負担増を考慮し、金丸が「思いやりの立場で対処すべき」などと答弁したことから「思いやり予算」と呼ばれるようになったそうだ。

最初は、在日米軍基地で働く日本人従業員の給与の一部 62 億円を日本側が負担する。

ここから始まったのが、いつの間にか、周辺対策費なども合わせると、昨年で 5,500 億円にもなる。

これまでの費用を累計すると、13 兆円(その内、思いやり予算の累計は、5 兆円)。

国と地方を合わせた財政赤字は、800 兆円、とも言われているが、HP のリアルタイム財政赤字というのを見ると 1,200 兆円を超えているものもあり、1 分間に数百万円ずつ増えている(HP には、いくつかある)。

そういった中での「思いやり予算」???

ちなみに、小泉時代に行われた増税、その額は、8兆8,263億円、1家庭当たり17万8,202円 酒・タバコ税、定率減税・配偶者特別控除の廃止、厚生年金・共済年金・介護保険料の引き上げ etc

この実態を どれだけの国民が知っているのか???



このような中、連合は、今年の中学生暴行事件を受けて、外務省に「地位協定の抜本見直し」を申し入れた。

そして、6月までに連合は、48万筆の署名を集め、再度、強く要請している。

その他にも平和行動として連合は、核兵器の廃絶や北方領土の返還を求めた活動を展開、6月の沖縄、7月の岡山、8月のは広島・長崎、そして9月の根室、毎年、平和行動を展開している。

今年は、連合山口・連合中国ブロック主催の「岩国基地機能強化反対集会」にも参加。

一人々の、平和を求める気持ちが、一体となって、そして団結しなければ、世界平和は決して守れない。

平和を守る、その気持ちを仲間を広げ、全世界に平和が訪れるよう、仲間のみなさんとともに運動の輪を広げていきたい。

そのため、ともにガンバロー!!!

参考文献：検証「地位協定」

日米不平等の源流 著者 琉球新報社・地位協定取材班

発行 高文研

投稿：S・I

